

① 町長の思う町づくりについて

2期目の吉田町政として6年目が経過しようとしています。この間、厳しい町政運営の中、「幸福度日本一のまちづくり」に向け各種施策を展開してきました。これまで「人に優しい成熟したまち」や「将来にわたっての財政の健全化維持」などの施策を取り入れ、費用対効果と効率的な成果を重視した行政運営を行ってきました。以下の点について、町長としてのこれまでの評価をお伺いします。

- (1) 子育て・教育・介護の3点のキーワードの推進について
- (2) 中央商店街と商業地区（イオンタウン）との共存共栄について
- (3) 人口課題に向けた施策について
- (4) 高田南土地区画整理事業及び町道西高田線について

② 持続可能な開発目標について

貧困や格差、気候変動などの課題解消に向け、国連加盟国が2016年1月から30年末の達成をめざす「持続可能な開発目標（SDGs）」について、地方自治体や民間企業で、その理念を施策や事業に取り入れる動きが活発化しています。また、昨年12月には、官民一体で目標を達成する「アクションプラン2018」が策定されました。また、優れた団体も表彰され、北海道の下川町が総理大臣賞に選ばれました。そこで、SDGs 17の目標における次の項目についての考え方をお伺いします。

- (1) 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」について
- (2) 「作る責任 使う責任」について（リデュース・食品ロス等）
- (3) 行政内部の理解促進と住民への周知について